

病床機能転換計画の進捗状況

2024年2月
医療法人社団稲仁会
旭川脳神経外科循環器内科病院

病床転換計画について（再掲）

医療法人社団利信会 上村産婦人科医院 上村利彦理事長のご協力もあり、上村産婦人科医院を医療法人稲仁会へ事業譲渡したうえ、一般病床を18床旭川脳神経外科循環器内科病院へ移動（①）。同時に、旭川脳神経外科循環器内科病院の療養病床の20床を一般病床へ転換（②）させ、2025年まで一般38床を回復期としたい（③）。

①実行時

旭川脳神経外科循環器内科病院 一般60床（急性期） 療養60床（回復期48・療養20）
 ※療養18床は返還（合計120床）
 上村産婦人科医院 一般1床（急性期）

②実行時

旭川脳神経外科循環器内科病院 一般80床（急性期） 療養40床（回復期40）（合計120床）
 上村産婦人科医院 一般1床（急性期）

③2025年まで

旭川脳神経外科循環器内科病院 一般80床（急性期42・回復期38） 療養40床（回復期40）（合計120床）
 上村産婦人科医院 一般1床（急性期）

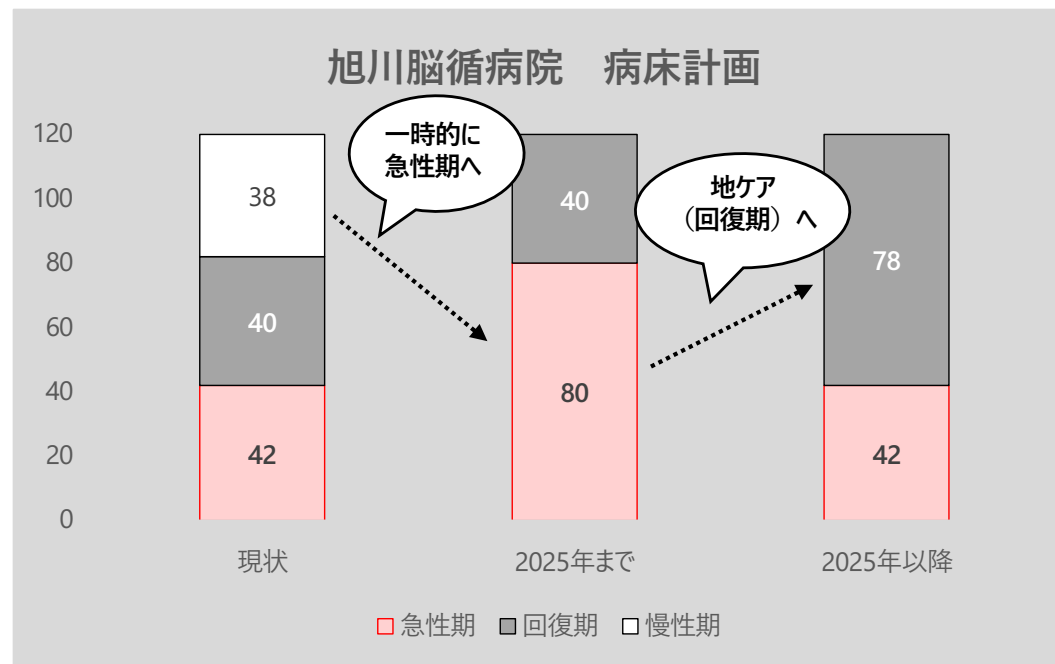
2022/12より、当初の計画通りの病床区分でスタートしております。

	病床基準	病床数	2022/11	2022/12	2023/1	～	2025/4
	急性期	42	42	80 ●	80		42
医療法人社団稲仁会	回復期リハ	40	40	40	40		40
旭川脳神経外科循環器内科病院	療養	38	38	—	—		—
	地域包括ケア	—	—	—	—		38
医療法人社団利信会 上村産科婦人科医院	急性期	19	19	1	1		1
医療法人社団稲仁会へ事業譲渡							

旭川脳循環 病床転換計画（再掲）

2022年7月より整形外科チーム（医師5名）の配備が決定。整形外科慢性期及び急性期（外傷等）も一部運用することに決定。それに伴い看護師、コメディカルも充実するため急性期病床の拡充が可能。コロナ、救急受入れの確保も可能となる。3か年計画で在宅医療の体制・現在の回復期機能を拡大を実行し、早期に回復期への転換を図る。

コロナ患者の受入れ及びバックベッド、**救急搬送の受入れ枠の確保**
 整形外科の充実により**救急受入れ幅が大きく広がる**



在宅（訪問診療＋訪問看護）の整備を行い、一時的に増やした急性期病床をなるべく早くに**回復期（地域包括ケア病床）へ転換**

